

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	小手指店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
02	自転車の利用促進	525台分の駐輪場有り。			○	○	○
(01)	十分な広さの駐輪場の設置・維持管理						
02	自転車の利用促進						
(02)	自転車利用者へのインセンティブの付与	2時間まで無料で駐輪可能。			○	○	○
02	自転車の利用促進	自転車をロックすることが可能な駐輪場を設置。			○	○	○
(03)	その他自転車の利用を促進するための取組						
06	宅配サービスの実施等	電化製品や大型家具の配送			○	○	○
(01)	荷物の宅配サービスの実施						
06	宅配サービスの実施等	ネットスーパーを利用されたお客様への商品の配送			○	○	○
(02)	インターネット等を利用した物品販売の促進						

## 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	埼玉工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5

# 自動車地球温暖化対策実施方針

02 公共交通機関への転換の推進 ----- (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	バス時刻表の表示	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 ----- (02) 送迎バス等の運行	川越駅、新所沢駅、上福岡駅より送迎バス運行	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (01) 自転車の安全利用の促進	工場敷地内に屋根付き駐輪場を設置	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	・照明を設置 ・駐輪場の混雑を解消するため、バイク置き場・自転車置き場を別に設置	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (02) 従業員用駐車場の有料化又は駐車場台数の削減	従業員駐車場有料化	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (04) テレワーク制度の導入	事務職は50%以上のテレワークを実施	○	○	○
07 時差通勤の実施 ----- ( )	短期間勤務があり、勤務時間は各自選択可能	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	上福岡店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
02	自転車の利用促進	765台分の駐輪場有り。	○	○	○		
(01)	十分な広さの駐輪場の設置・維持管理						
02	自転車の利用促進						
(02)	自転車利用者へのインセンティブの付与	2時間まで無料で駐輪可能。	○	○	○		
02	自転車の利用促進	自転車をロックすることが可能な駐輪場を設置。	○	○	○		
(03)	その他自転車の利用を促進するための取組						
06	宅配サービスの実施等	ヤマト運輸による宅配サービスを活用することにより、自家用車のご利用を抑制する。	○	○	○		
(01)	荷物の宅配サービスの実施						
06	宅配サービスの実施等	楽天西友ネットスーパーによる販売促進を実施する。	○	○	○		
(02)	インターネット等を利用した物品販売の促進						

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	東松山店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5

# 自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	300台分の無料駐車場有り。	○	○	○
---------------------------------------	----------------	---	---	---

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	合同会社西友	事業所名	三郷センター				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	省エネ法に基く基準で毎年全国のセンターを把握し、法令に基き報告する。1運行当りの積載した商品量と走行距離を把握して課題を抽出して改善活動を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	物流事業部の政策や方針説明会を定期的に行い、具体的な取り組み内容を共有する。 輸送管理システムの活用を行い、生産性指標に基づいた管理精度の向上を行い、走行距離削減に取り組んでいる。			○	○	○	
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ( )	メーカーからの商品を三郷センターを経由することで、全体の総走行距離を削減する。			○	○	○	
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	商品運搬具(パレティナ等)の標準化および少量積載のパレティナを少ない台数で収まるよう商品を積み直すなどの作業の遂行に取り組む。小分けの一部商品をオリコン(プラスチック製)から段ボールに変更して、軽量化・小型化を図る。			○	○	○	
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	地方(他センター)への輸送について、輸送単位が小さい場合は、特積輸送や宅配便輸送の検討し、有効である場合は実施する。			○	○	○	

# 自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	立地法上の届出条件と輸送量に応じた適正車両を選択する。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	商品ごとに発注締め切り時間を設定、および最終納品時間を設定する。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	ドライバーからの情報や道路情報などから配送経路を変更する。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	トラックの納品スケジュールの「見える化」を実施する。(納品ドライバーへのスケジュール開示・現場作業員へのドックスケジュールの配信)	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ( )	GPSシステム導入をしており、納品先までの経路の見直しや出荷時間の調整を行い、出荷便数の削減や輸送距離の削減に注力する。多頻度少量輸送の見直しとして、満載にならない場合は次の時間の便に混載する場合もある。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	順次低燃費車への入れ替えを実施する。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	毎月の定例会議で要請する。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進          ( 03 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>燃費実績を報告させ把握し、定例会で報告を受ける。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進          ( 04 ) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>店舗納品時間が重ならないよう調整する。</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用          ( )</p>	<p>三郷センターの物流管理業務(配車業務)及び実運送業務を外部物流会社に委託している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進          ( )</p>	<p>三郷センターから札幌センターへの転送便に鉄道コンテナ輸送を使用。また、福岡エリアへの転送便に、内航船による輸送を使用。</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減          ( )</p>	<p>GPSシステム導入しており、納品先までの経路の見直しや出荷時間の調整を行い、出荷便数の削減や輸送距離の削減に注力する。</p>	○	○	○
<p>11 その他の必要な取組          ( )</p>	<p>自社発注データを効率よく集計、配送会社に提供することで、最適な車両サイズや必要最低台数で配送計画が立案できるよう可視化の推進。</p>	○	○	○